

## 基本課題Ⅰ 人権（女性の人権及び性を尊重する）

### 目標 1 男女の人権を尊重するための環境づくり

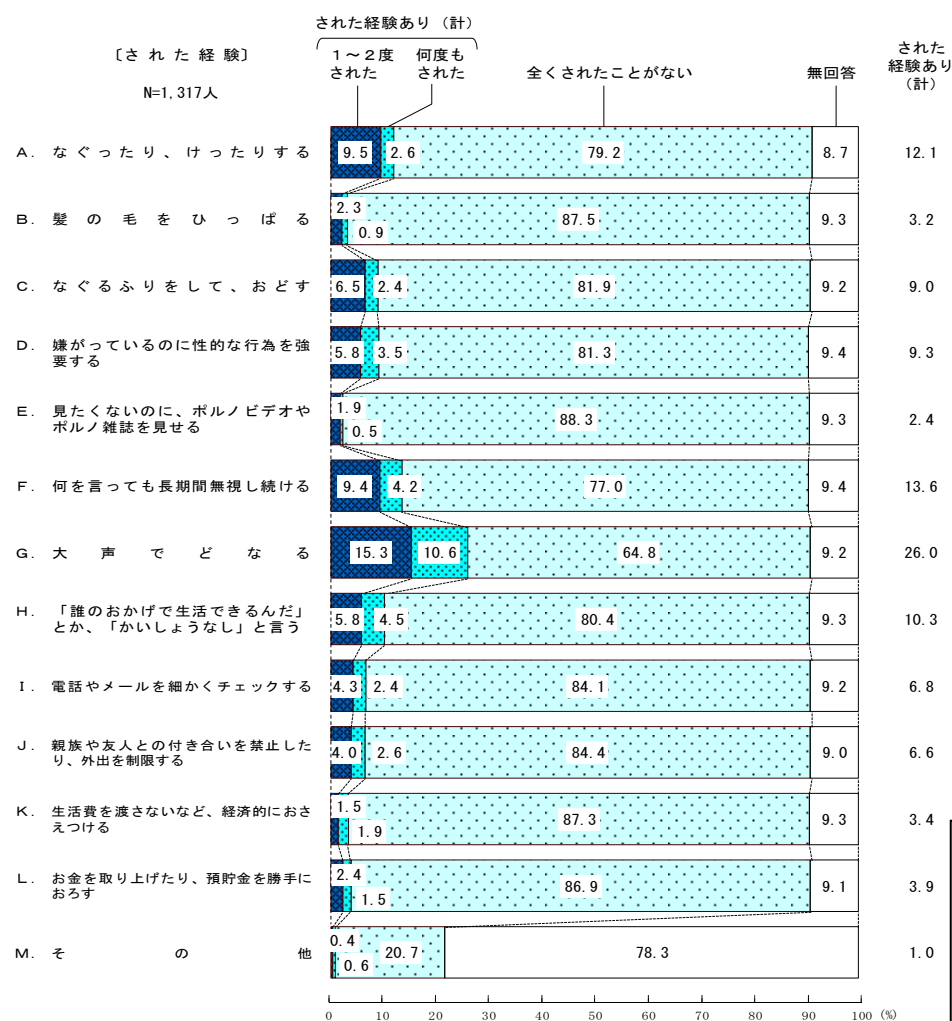
人権尊重の環境づくりのために、次の施策に取り組みました。

- (1) 女性に対するあらゆる暴力の排除
- (2) メディアにおける女性の人権の尊重
- (3) 国際社会における男女平等の推進
- (4) 人権の尊重と心の健康支援

#### 状況

女性男性とも、配偶者や恋人など、パートナーからの暴力などの被害経験がある人がいることがわかっています。

配偶者（事実婚や離別・死別を含む）や恋人などのパートナーに、次のような行為をされた経験について

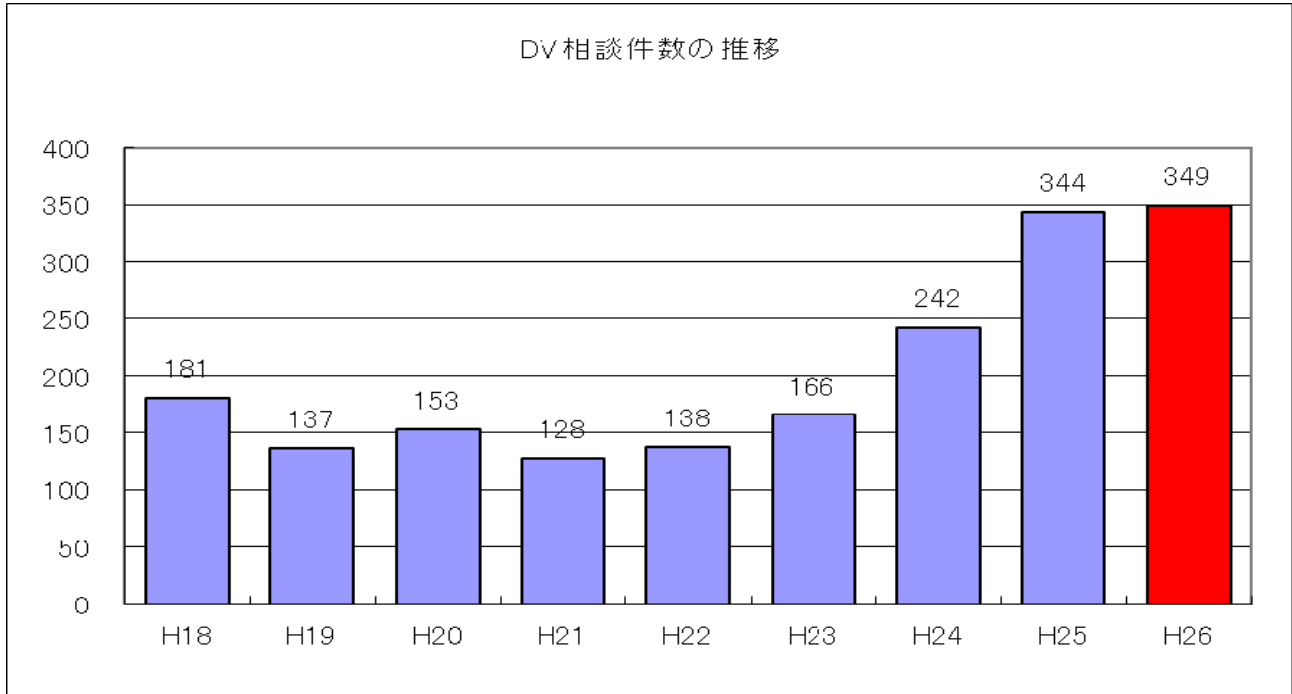


平成26年度男女共同参画に関する市民意識調査  
 調査対象：柏市在住の20歳以上の男女  
 標本数：4,000人  
 調査方法：郵送による調査

柏市においても、DV被害についての相談が多く寄せられており、平成25年度は、前年よりも100件以上も相談件数が増加、平成26年度も前年と同等の件数の相談が寄せられています。

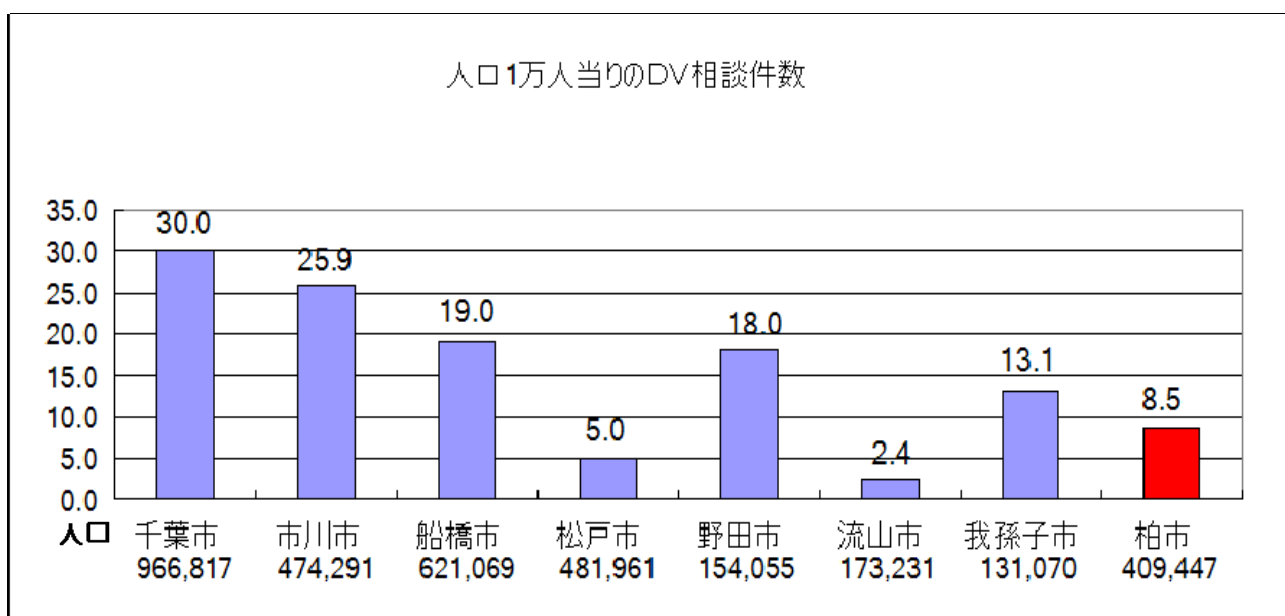
相談にあたっては、相談者の気持ちに寄り添うことを心がけ、必要に応じて千葉県女性サポートセンターや柏警察等の関係機関と連携して対応しています。

また、啓発や被害者支援のため、図書展示や講座等の様々な取り組みを行っています。



近隣市及び県内の人口上位3市の状況を見てみると、人口1万人当りのDV相談件数は次の通りです。千葉市、市川市、野田市は、配偶者暴力相談支援センターを設置しています。

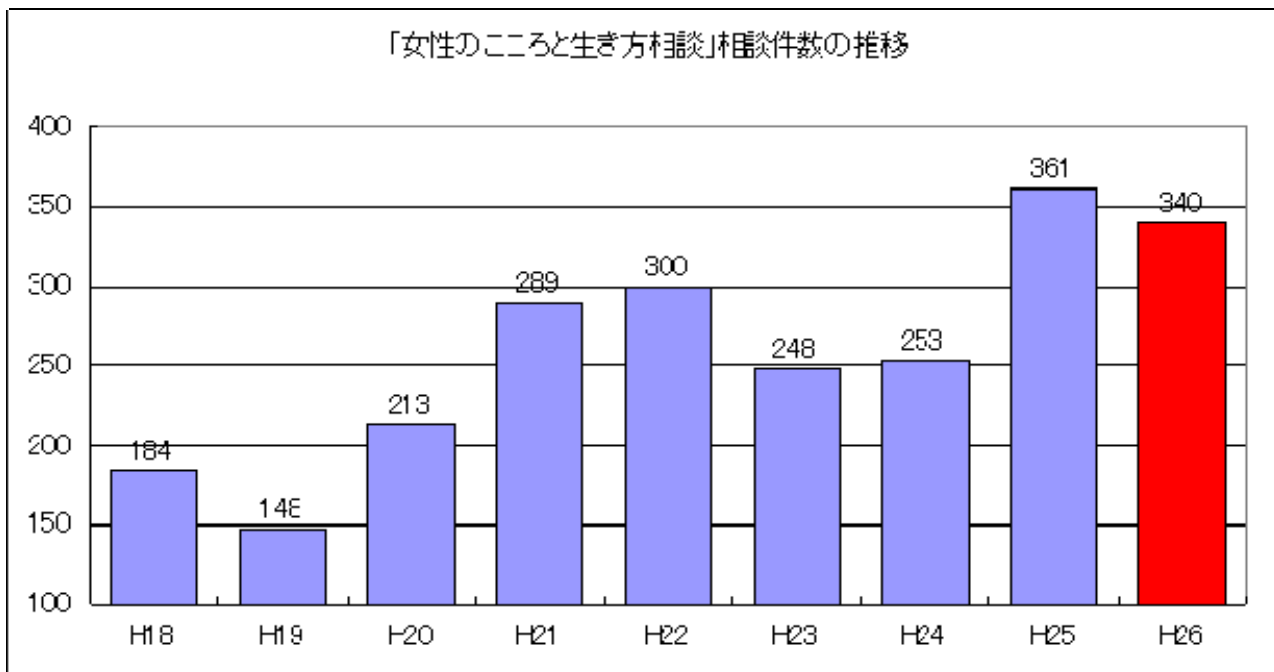
松戸市には、県のDV相談専用窓口（松戸健康福祉センター）が設置されています。



※平成26年度中の相談件数と平成27年4月1日現在の人口から算出

女性のこころと生き方相談は、生き方、夫婦、家族、健康など、女性がさまざまな悩みを抱えている状況が伺えます。

平成26年度は、前年度より相談件数は若干減少していますが、引き続き多い状況が続いています。



## 特に取り組んだこと

### 1 DVや各種ハラスメント防止のための講座を開催しました

図書展示と併せ、ロールプレイを通じて、人との関わりが楽しくなるコミュニケーションを学ぶ「人との関係を豊かにするコミュニケーション講座」を開催しました。

(平成26年11月28日 図書館会議室 参加者18人)

**庁内連携**

講師 高山直子さん（NPO 法人サポートハウスじょむカウンセラー）による、講座の様子



## ◇図書館本館ロビーにて企画図書展示

女性に対する暴力をなくす運動期間に合わせ、DV防止に関する展示を実施しました。  
(平成26年11月12日～11月25日)

庁内連携



企画図書展示の様子

### 推進状況

#### 配偶者からの暴力が人権侵害であると認識する人の割合

	平成21年度 意識調査		平成26年度 意識調査		平成27年度目標
身体的暴力	92.4%	⇒	<u>92.3%</u>	⇒	<u>100%</u>
言葉の暴力	88.1%	⇒	<u>89.5%</u>	⇒	<u>100%</u>

### 2 全市立小中学校の先生を対象に研修を実施しました

教職員対象の指導課主催の人権尊重教育研修会『学校における人権教育と男女平等教育』を開催しました（各校1名以上参加）。柏市の施策・教育委員会や学校現場での取り組みを紹介し、女性に対する暴力を許さない社会づくりを含め、今後も継続して取り組むよう啓発を行いました。

庁内連携

### 3 在住外国人のための外国語による支援を行いました

#### ◇外国人アドバイザー相談

外国人アドバイザーが、在住・在勤・在学の外国人の日常生活や市政に関する相談を行いました。現在、日本語だけでなく、英語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語で対応しています。

■柏市オフィシャルウェブサイト 外国人アドバイザー相談に関するページ  
<http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/400100/p003863.html>

協働推進課

## ◇外国人に向けた多言語メール配信

柏市で生活する外国人に向け、緊急情報や市政情報を英語、中国語、スペイン語、やさしい日本語で配信しました。

協働推進課

## 4 関係課と連携して自殺予防対策に取り組みました

### ◇相談窓口の案内や啓発講座などの自殺予防対策事業

悩み別に相談窓口を紹介したチラシを作成し、各関係機関から配布しました。

また、「こころの健康講座」などの啓発講座や、無料電話相談・無料対面相談窓口を開設しました。

### ◇自殺予防ゲートキーパー養成研修を行いました

悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげることができるゲートキーパーを養成する研修を、5回コース2回、3回コース3回の計19回（参加者計99人）、及び学校の教職員向けの研修を行いました。（参加者419人）

（その他）

- ・相談窓口案内チラシの配布
- ・無料電話相談（310件）・無料カウンセリング相談（157件）
- ・自死遺族支援事業 わかちあいの会ひだまり
- ・いのちと暮らしの相談ナビ
- ・柏市自殺対策推進条例（平成23年6月27日施行 平成27年3月31日まで）
- ・自殺予防対策連絡会議設置（保健福祉総務課，保健予防課）
- ・医療従事者等研修会（平成26年12月71人）
- ・自殺予防週間，自殺対策強化月間に併せて，広報かしわで自殺予防対策に関する記事を掲載

■柏市オフィシャルウェブサイト 自殺予防対策に関するページ

<http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/061600/p007585.html>

## 主な取り組み

（相談）

- ・女性のこころと生き方相談（男女共同参画室）
- ・母子自立支援相談（こども福祉課）
- ・人権相談（秘書広報課）
- ・法律相談（秘書広報課）
- ・市民相談（秘書広報課）
- ・職員向けにセクシュアル・ハラスメントに関する相談・苦情窓口（人事課）
- ・精神保健福祉相談（保健予防課）
- ・英語，中国語，スペイン語，朝鮮/韓国語による外国人相談（協働推進課）
- ・自殺対策として無料の電話相談，面談相談窓口を開設（保健福祉総務課）

■ 柏市インターネット男女共同参画推進センター参画 e y e

女性のこころと生き方相談に関するページ

[http://danjo.city.kashiwa.lg.jp/soudan/kashiwashi\\_soudan.htm](http://danjo.city.kashiwa.lg.jp/soudan/kashiwashi_soudan.htm)

■ 柏市オフィシャルウェブサイト 相談サポートに関するページ

[http://www.city.kashiwa.lg.jp/living/counseling\\_support/index.html](http://www.city.kashiwa.lg.jp/living/counseling_support/index.html)

(DV対策)

- ・ DV関係課ネットワーク会議 (男女共同参画室)
- ・ 母子緊急一時避難, 相談支援 (こども福祉課)
- ・ 高齢者緊急一時保護を実施 (福祉活動推進課)
- ・ 緊急一時避難相談対応 (男女共同参画室)

(その他)

- ・ 女性, 男性双方に配慮した表現の広報, 出版物, ホームページ作成 (秘書広報課)

**今後の取り組み**

- ・ 母子自立支援プログラム策定等事業の継続 (こども福祉課)
- ・ 就業支援講習会等事業の継続 (こども福祉課)
- ・ 自殺予防対策講演会等開催 (保健福祉総務課)
- ・ 自殺予防ゲートキーパー養成研修 (保健福祉総務課)

## 目標2 女性の生涯を通じた健康支援

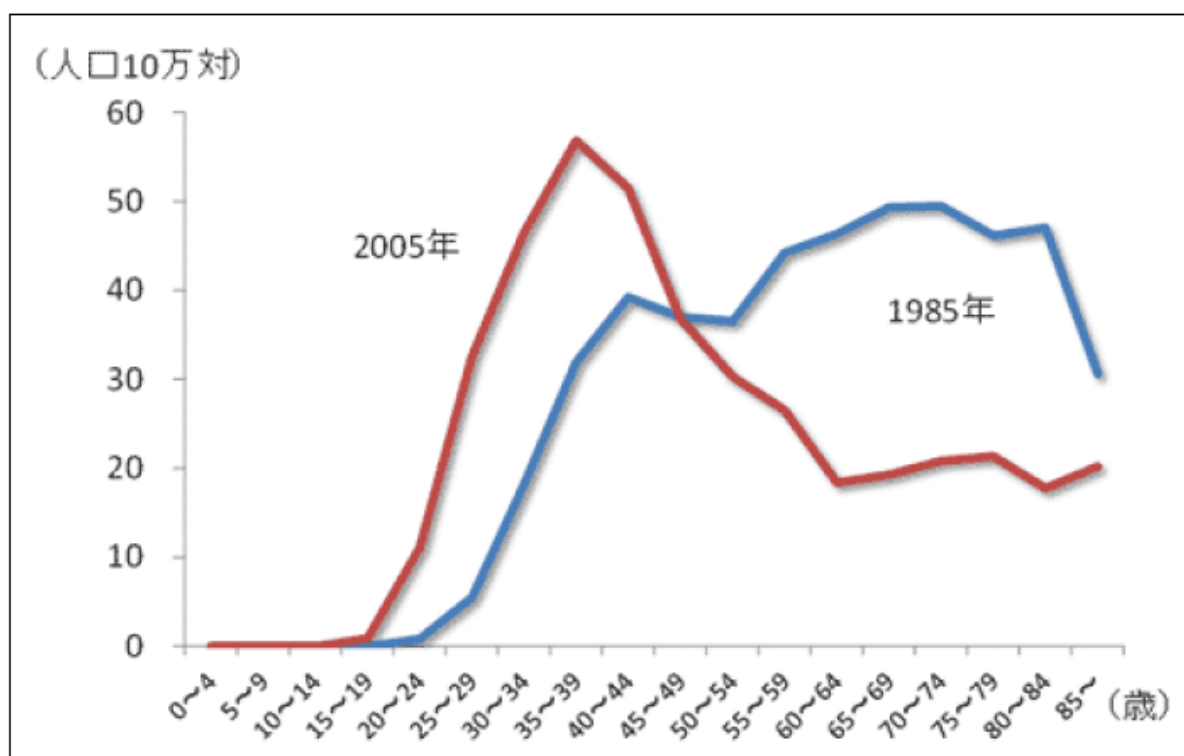
性に対する理解を進めるために、次の施策に取り組みました。

- (1) 性と生殖の健康・権利の理解と普及
- (2) 女性の健康保持と増進

### 状況

女性も男性も健康に自分らしく過ごせるように、男女の身体的性差を理解しながら健康づくりを目指しています。女性特有の病気の1つの子宮頸がんは、20歳、30歳代でかかる方が増えており、がん検診を呼びかけていく必要があります。

### 子宮頸がん（上皮内がんを含む）発生率の推移



国立がん研究センターがん対策情報センター「がん情報サービス」より

## 特に取り組んだこと

### 1 乳がん検診に関するイベントを実施しました

#### ◇乳がん検診体験（平成 27 年 2 月 7 日 45 人）

人が多く集まるショッピングセンターで、「はじめての乳がん健診」（乳がん検診体験）を実施して、検診の大切さをPRしました。

成人健診課

#### ショッピングセンターでの乳がん検診体験



### 2 女性のための各種健康診査を実施しました

#### ◇「乳がん検診」「子宮がん検診」「女性の基本35」を実施しました

※「女性の基本35」は、35歳の女性を対象とした柏市独自の検診です。  
血液・血圧・尿・骨密度について、指定医療機関で個別検診します。

女性の健康支援として、がん検診（乳がん、子宮がん）と出産・子育て期の健康状態の確認のための検診（女性の基本35）を実施しました。

成人健診課

■ 柏市オフィシャルウェブサイト 柏市の健康診査・がん検診に関するページ  
<http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/062100/h25p40421.html>

### 3 がん検診時等に保育を実施しました

#### ◇乳がん・子宮がん検診時に保育を実施しました

子育て中の女性の健康支援の一環として、乳がん検診（12回）子宮がん検診（3回）時に保育を実施しました。

男女共同参画室



## 推進状況

### 「女性の基本35」の受検者数

平成23年度 312人 ⇒ 平成26年度 422人 ⇒ 平成27年度目標 550人

### 乳がん検診の受検者数（後期計画新設目標）

平成23年度 23,931人 ⇒ 平成26年度 24,485人 ⇒ 平成27年度目標 26,000人

### 子宮がん検診の受検者数（後期計画新設目標）

平成23年度 20,663人 ⇒ 平成26年度 8,354人 ⇒ 平成27年度目標 27,000人

※25年度から、受検間隔が2年に1回となった。

## 主な取り組み

- ・エイズ相談やHIV等抗体検査（HIV、クラミジア、梅毒、B型肝炎、C型肝炎）実施、普及習慣や世界エイズデーに併せた啓発、イベント会場での普及啓発（保健予防課）
- ・思春期保健関係者会議、健康教育実施（地域健康づくり課、学校保健課）
- ・女性の健康診査普及啓発としてリーフレットを作成し、母子保健事業、各種イベント等で配布（成人健診課）
- ・家庭婦人スポーツ大会の開催（スポーツ課）

## 今後の取り組み

- ・各種健康診査（乳がん検診、子宮がん検診、女性の基本35）の継続実施、受診促進（成人健診課）
- ・医師会、助産師会、市民団体、PTA等との連携による、公立小・中学校で思春期保健健康教育推進（地域健康づくり課、学校保健課）
- ・にこにこダイヤルかしわ（妊娠、出産、子育ての悩み相談）（地域健康づくり課）
- ・ノースモッ子作戦（学校保健課・地域健康づくり課）